

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年3月23日	記入者		連絡先	5342
平成18年度部名	保健福祉部	課名	陽光園	課長名	高橋 哲
平成19年度部名	福祉部	課名	陽光園	課長名	橋本 修一
事務事業名	社会福祉施設維持補修費				
予算上の事務事業名	社会福祉施設維持補修費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		11320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります				
基本施策名	第3節 障害者の自立支援と社会参加				
施策名	第2施策 療育体制の整備と保育・教育の充実				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等	建築基準法、消防法				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	施設運営	▼	5 事業開始年度	昭和63年以前	▼
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)	(2) 対象(誰、何)				
破損または故障などにより、使用に支障を来たす状態になった建物設備について、現状復帰を目的とした修繕を実施する。(比較的小規模なもの)	陽光園本棟、療育相談棟及びこれらに付随する設備等				
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
施設修繕料 1,200千円 冷温水機配管、コンセント、ドア、電話配線等小破修繕					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移	[単位:千円]				
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	1,048	1,200	1,200	1,200
一般財源	0	1,048	1,200	1,200	1,200
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	0	805	805	805	805
事業コスト合計	0	1,853	2,005	2,005	2,005
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	修繕1件あたりに要したコスト			対象名称 と単位	修繕全体額 / 修繕件数
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	1,048	1,200	1,200	1,200
対象数	0	19	27	27	27
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	55,158	44,444	44,444	44,444
前年度比		#DIV/0!	0.81	1.00	1.00

10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	予算執行率	指標式と指標の説明		各年度の決算額 / 予算額 × 100 予算の執行状況から、施設維持補修上の計画的かつ効率的な維持補修が行われているかを測る。	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績		87.3	100.0		
目標		100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	87.3	100.0		
11 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	修繕実施率	指標式と指標の説明		修繕実施数 / 修繕必要箇所 × 100	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	100.0	100.0		
目標	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度(%)	#DIV/0!	100.0	100.0		
12 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性〔有・無〕					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
13 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		現在の方法で、必要な箇所については効果的な修繕が行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
14 成果向上及び効率性を高めるための方策			15 課題として認識されたこと		
現状では、主に安全性・機能性の確保及び施設の延命を図るための修繕を実施している。			施設の老朽化が著しいため、今後、大規模改修等、長期的なスパンに立った検討することが必要である。		
16 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			